

2023（令和5）年度事業報告書

<第一光の子保育園>

■保育活動について

- ・1年間園長不在の中で、主任保育士を中心に安定した保育を展開することができた。また地域の方々の協力を頂き、子どもの経験につなげることができた。
(記念礼拝、ハープ演奏、お話会・羊の毛刈り、田植え・稲刈り・野菜の栽培・収穫、餅つき、味噌作り等)
- ・コロナが5類に移行したことで、園行事の保護者人数の制限を無くし多くの保護者の方に参加していただくことができた。
- ・10月、2歳児の磁石の誤飲事故が発生し大河原町の指導のもと対応にあたった。

■園舎の不具合（修繕）について

- ・園舎西側の雨漏り工事を実施

<第二光の子保育園>

■経営状況について

- ・仙南信用金庫及び相双五城信用組合からの借入金は、2024年3月をもって返済を完了した。
- ・今まででは賞与に人件費積立を充てていたが、昨年度は給与支払いの時に積立を取り崩して払わなければならぬ月があった。

■人事について

- ・病気療養中だった平塚幹夫園長先生が2月24日逝去し、年度末にかけて園長が不在となった。理事長も兼務していたため、当園の体制だけでなく、今後の法人全体の体制を整えなければならない事態となつた。もしものことを考えて、もう少し体制を整えておく必要があった。

■修繕等について

- ・玄関ホールのエアコンが壊れてしまい、約80万かけて新しいものに取り替えた。
- ・コドモン（ICT）をより一層活用するために、Wi-Fi工事を行い、園全体に電波が届くようにした。

<角田光の子保育園>

■保育活動について

- ・開園5年間、定員を上回って園児が入園し、地域の保育園として角田光の子保育園が認識していただけるようになったと感じる。地域の方と交流する行事はもとより、隣接のデイサービスの高齢者の方々と週1度程度の訪問や、近くの事業所の見学等日常的な交流もあり、今後も継続して取り組んでいく。
- ・誤嚥1件、薬品管理1件のヒヤリハット案件があり、職員間で共通認識を持ち、対策を考えた。

■プールへの桟橋について

- ・5年前に設置した屋外の木製の桟橋が、経年劣化で危険な状態となつたため、次年度撤去新設する予定。（5月にコンクリートで新設済）

■賞与支給の際の施設間借り入れについて

- ・5年度の夏、冬の賞与支給の際、全額を準備することができず第一、第二から借り入れをして凌いだ。年度末に返済完了した。次年度は支給の目途が立っている。